



分野7 都市・交通

分野目標：市民の快適な暮らしと活発な交流を支える、魅力と愛着が感じられる都市を実現します

政策体系

7-1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める

- 7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進
- 7-1-2 3都心などの魅力向上
- 7-1-3 地域資源の発掘・活用
- 7-1-4 広域連携の深化

7-2 都市の力を底上げするネットワークを整備する

- 7-2-1 持続可能な交通ネットワークの形成
- 7-2-2 道路ネットワークの形成
- 7-2-3 安全・安心な移動環境の整備

7-3 まちの発展にテクノロジーを活かす

- 7-3-1 スマートシティの推進
- 7-3-2 新しい技術・しくみの社会実装の加速化

7-4 暮らしを支える基盤を創る

- 7-4-1 住環境・生活基盤の充実
- 7-4-2 持続可能な上下水道事業の推進

7-1

持続可能で魅力あるまちづくりを進める

【関連するSDGsの目標】



ウォーカーブル（千葉公園通りのダンス）

7-1-1 美しく心地よいまちづくりの推進

施策の展開

- 人口減少や少子高齢化が進む局面においても、変化への対応を図りつつ、充実した都市機能の集積とゆとりある空間、豊かな緑と水辺及び都市の利便さが共存する千葉市を未来に引き継ぎ、持続可能で魅力ある都市空間を育むことが重要です。
- 良好な居住環境の形成を図るため、寒川第一、検見川・稲毛、東幕張地区の土地区画整理事業を推進するとともに、長期にわたり事業化されていない土地区画整理事業の未施行区域について、都市計画の見直しを進めます。
- また、人口減少や少子高齢化が進む中でも、安全で安心な住環境の形成を図るため、空き家・空き地の発生予防、利活用の促進、管理不全な空き家等の解消などに取り組みます。

計画事業

土地区画整理事業の事業展開		市街地整備課、建築指導課	
社会情勢や周辺状況などの変化に対応するため、長期間にわたり事業化されていない土地区画整理未施行区域について、都市計画の見直しを行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
見直しに向けた地元説明と都市計画手続き	地元説明・調整7ブロック	地元説明会7ブロック	14ブロック完了
	都市計画手続き4ブロック	都市計画手続き7ブロック	11ブロック完了
代替方策制度設計・運用	検討	制度設計・運用	運用
		狭あい道路拡幅整備 48m	
寒川第一土地区画整理		寒川土地区画整理事務所 公園建設課	
良好な居住環境の形成を図るため、建物移転、道路、下水道施設などの公共施設の整備を進めるとともに、換地処分に向けた準備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
道路整備	4,700m	800m	整備完了
出来形確認測量	5.4ha	12.3ha	測量完了
換地計画の準備	—	換地計画作成	住民理解の醸成
		換地処分へ向けた住民説明会の開催	

検見川・稲毛地区土地区画整理	検見川稲毛土地区画整理事務所
----------------	----------------

良好な居住環境の形成を図るため、建物移転、道路、下水道施設などの公共施設の整備を進めます。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
道路整備	14,642m	1,292m	15,934m

東幕張土地区画整理	東幕張土地区画整理事務所 公園建設課
-----------	-----------------------

良好な居住環境の形成を図るため、建物移転、道路、下水道施設などの公共施設の整備を進めます。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
道路整備	4,929m	741m	5,670m

空き家・空き地対策の推進	都市安全課
--------------	-------

安全で安心な住環境の形成を図るため、管理不全な空き家等に対する指導を行うとともに、空き家等の発生予防及び利活用の促進に取り組みます。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
管理不全な空き家及び 空き地の解消(なくす)	空家等所有者の意向把握 等調査完了	空家等実態現地調査	調査完了
発生予防・ 利活用・ 流通促進 (つかう・へらす)	空き家等対策 総合支援補助	検討	実施
	空家等管理 活用支援法人	指定方針の決定、 募集・決定	運用
	空家を除却した 土地に係る固定 資産税等の減免	検討	検討、実施

7-1-2 3都心などの魅力向上

施策の展開

- 政令指定都市である千葉市は、東京圏の主要都市として、また、県内における生活圏・経済圏の中心都市として、県内随一の拠点性を有し、経済・文化等の中枢・中核を担う都市の役割を果たしていく必要があります。そのため、都市構造上枢要な場所として位置する千葉都心、幕張新都心、蘇我副都心の3都心は、周辺都市を含めた圏域*の中核として、市域を越える広域的な商業・業務・文化の拠点を目指し、魅力を高めていく必要があります。
- 千葉都心では、中央公園プロムナード*沿道をはじめ、駅周辺の多くの建築物が更新の時期を迎えているため、今後の商業・業務機能の集積や居住機能、都市景観の在り方などについて、行政・企業・大学・市民などまちに関わる様々な方々と議論・連携しながら、多様な視点から中央公園プロムナードの将来像を検討するとともに、千葉都心全体の将来像を示す「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」を改定し、魅力あるまちづくりを推進します。
- グランドデザインの先行整備プログラムである、千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るための公園全体の再整備や中央公園・通町公園の連結強化のほか、西銀座周辺の再開発を促進するとともに、官民の連携による、居心地の良く歩きたくなるまちなかの形成や、リノベーションまちづくり*の推進によりエリアの価値向上に向けた取組みを推進し、まちづくりを支える人材を育成します。また、千葉市の文化の拠点としてJR千葉駅前へ市民会館の再整備を進めます。
- 「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市として発展を遂げてきた幕張新都心では、中長期的な将来を見据えた「幕張新都心まちづくり将来構想」を策定し、新たなまちづくりの方向性として、既存資源の柔軟な活用・回遊性の向上、市民参加、基盤・持続可能性を位置づけ、多様な関係者による主体的な連携の下でまちづくりを進めてきました。
- 幕張新都心のさらなる魅力向上に向けて、民間の投資と参加を促し実効性のあるまちづくりを進めるための基本的な方針を検討・策定するとともに、千葉マリスタジアム再構築について基本計画の策定に取り組むほか、アルティアリー千葉の新アリーナの整備促進や幕張海浜公園における活性化施設の整備を行います。
- また、これらの整備を見据え、官民連携による回遊性や滞在快適性の向上を図るため、中心地区におけるエリアマネジメント*や豊砂地区におけるウォークブル*の取組みを進めるほか、国家戦略特区*制度を活用した自動運転などの社会実装を目指します。
- 蘇我副都心については、JR蘇我駅が京葉線、内房線・外房線の結節点であるとともに、商業機能が集積し、また、その立地特性を活かしスポーツ・レクリエーション機能の充実や音楽イベントの開催地となる等、副都心として相応しいまちづくりを進めています。
- 蘇我副都心における交通結節点としての機能を高めるため、市街地再開発による蘇我駅東口駅前広場を含めた周辺の一體的な再編を進めます。

千葉駅周辺の活性化推進	都市計画課
--------------------	--------------

魅力ある千葉都心の形成のため、千葉駅周辺の活性化グランドデザインを改定するとともに、中央公園プロムナード*の将来像を検討し、その実現に向けた取組みを推進します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
グランドデザイン改定、 (仮)中央公園プロムナード 周辺のまちづくりビジョン策定	グランドデザイン改定(案)作成 (仮)中央公園プロムナード周辺 のまちづくりビジョン(案)作成 社会実験	計画改定・計画策定 社会実験	グランドデザイン改定 (仮)中央公園プロムナード周辺 のまちづくりビジョン策定 社会実験
中央公園プロムナード再編	駅前広場等概略検討 実証実験検討	基本計画、基本設計、 実施設計 実証実験設計、実証実験	実施設計完了
意見交換の場等 (中プロ・デザインラボ*)の開催	意見交換の場開催	中プロ・デザインラボの開催 4回/年	中プロ・デザインラボの開催 4回/年
魅力ある景観の形成	機能や将来像の把握、 課題の共有	現況調査、目標・基準の検討 景観形成推進地区指定 (中央公園プロムナード周辺)	地区基準の運用開始

中央公園・通町公園の連結強化	まちづくり課
-----------------------	---------------

歴史的資産を活かした「千葉らしさ」を感じるまちづくりのため、中央公園や通町公園、千葉神社を一体的に捉え、賑わいと回遊性を高める空間の整備を進めます。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
公園再整備 西区域	中区域再整備完了 東区域再整備着手 対象街区の一部取得	詳細設計 整備 用地取得	整備完了
周辺道路の再整備 (中央21号線ほか)	道路占用物件移設一部完了	実施設計 中央29号線安全対策工事 整備 200m	整備完了

千葉駅北エリアにおける官民連携まちづくり（ウォーカーブル*推進）	まちづくり課
---	---------------

多様な魅力のあるまちづくりを実現させるため、千葉公園通りにおいて、公共空間や民地などのオープンスペースを一体的に活用し、多様な人が多様な使い方のできる「居心地の良い空間づくり」を推進します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
道路整備	関係機関協議完了	道路整備 338m	道路整備完了
未来ビジョンの具現化に向けた エリアプラットフォーム*の運営	未来ビジョンの策定	エリアプラットフォームの運営	エリアプラットフォームへの 段階的な移行

千葉駅東エリア（西銀座周辺）の再開発	市街地整備課
---------------------------	---------------

千葉駅から中心市街地に賑わいを誘引するため、千葉駅東エリア(西銀座周辺)における再開発を促進します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
再開発の促進	再開発準備組合との協議	実施	実施
市道富士見14号線の整備	協議・調整	整備	整備完了

官民連携まちづくり（リノベーションまちづくり*）の推進			まちづくり課	
民間主導により地域課題の解決や地域経営の改善を図るため、既存資源等を活用し自立した事業を創出する人材の持続的輩出や域内ネットワークの増幅を目指します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
市内各エリアにおける人材発掘及び事業創出	ちば会議・裏ちば会議	2回/年	4回/年	4回/年
	リノベーションスクール	1回/年	1回/年	1回/年
	家守セミナー	—	2回/年	2回/年

千葉公園の再整備【再掲】			緑政課、公園建設課 生涯学習振興課、中央図書館管理課	
千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、再整備を進めます。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
やすらぎゾーン整備	やすらぎゾーン（第1期）整備	施設整備	やすらぎゾーン（第2期）施設整備完了	
遊びゾーン整備	拡張区域整備	測量・基本設計	拡張区域整備完了	
		実施設計 施設整備		
	アプローチ整備	—	実施設計完了	
水辺ゾーン整備	—	基本設計・実施設計 関係者との意見交換・調整 サウンディング調査	多目的広場実施設計完了 関係者との意見交換実施 サウンディング調査*完了	

市民会館の再整備【再掲】			文化振興課	
市民の文化芸術活動や質の高い芸術公演の鑑賞の場とするため、市民会館の再整備を進めます。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
市民会館の整備	基本計画修正	基本計画修正	実施設計	
		基本設計		
		実施設計		
用地取得	—	用地測量・境界確定	不動産鑑定	
		不動産鑑定		

幕張新都心のまちづくりの推進		幕張新都心課	
幕張新都心まちづくり将来構想の実現に向け、多様な主体の連携の下、民間主体のエリアマネジメント*活動への支援を行うとともに、幕張新都心活性化に向けた方向性や取組みの検討を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
(仮称)幕張新都心まちづくり基本方針の策定	まちづくりの方向性検討(中心地区)	まちづくりの方向性検討(公園・拡大地区等)	(仮称)幕張新都心まちづくり基本方針・アクションプランの策定
		基本方針検討	
		アクションプラン検討	
中心地区エリアマネジメントの支援・連携	エリアマネジメント組織の組成	公共空間利活用実証実験 公共空間利活用調査 公共空間利活用支援	エリアマネジメント組織による主体的な活動の実施
幕張豊砂ウォークブル*の推進	民間主体の体制確立 人工芝・ベンチの設置	滞在環境社会実験	民間主体の体制によるウォークブル推進
		滞在環境整備	
		サイン手法等社会実験	

千葉マリスタジアムの再構築		マリスタジアム再整備推進課	
幕張新都心の更なる魅力向上を目指すため、新たなまちづくりの拠点となるスタジアムの再構築を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
千葉マリスタジアムの再構築	検討	基本計画策定	基本設計完了
		基本設計	

アルティアリー千葉新アリーナの整備支援【新規・再掲】		スポーツ振興課	
スポーツ・文化芸術の良質な鑑賞・体感機会を創出し、県立幕張海浜公園の魅力向上を図るとともに、幕張新都心の防災機能の向上、回遊性・滞在快適性向上を図るため、アルティアリー千葉のホームアリーナ整備を支援します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
アリーナ整備	基本協定締結	アドバイザー業務委託	民間事業者による整備
		事業者選定	
		基盤整備支援	
		民間事業者による整備	

国家戦略特区*制度を活用した先端技術の推進【再掲】			国家戦略特区推進課
国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進等により、関連産業の集積を促進するほか、自動運転などの社会実装を目指し、市民の利便性向上や社会課題の解決を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
自動運転車サービスの導入	公道における自動運転車実証実験実施	実証支援	レベル4での自動運転*車サービス実装
		実装支援	
国家戦略特区制度の活用推進	11件	3件増	14件

JR稲毛駅東口周辺のまちづくり			市街地整備課
JR稲毛駅東口における慢性的な駅前広場の混雑などの課題を改善するため、駅前広場や周辺交差点の再整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
駅前広場改修	予備設計	詳細設計	改修
		用地調整	
		改修	

JR蘇我駅東口駅前地区のまちづくり			市街地整備課
蘇我副都心の交通結節点としての機能を高めるため、市街地再開発による蘇我駅東口駅前広場を含めた周辺の一体的な再整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
再開発の検討促進	コーディネート支援	実施	実施

7-1-3 地域資源の発掘・活用

施策の展開

- 千葉市固有の歴史や文化を市民に知ってもらい、郷土への愛着を醸成し、「千葉市らしさ」を確立するとともに、市外からも「訪れたい」、「住みたい」と思ってもらえる都市を目指し、「加曽利貝塚」、「オオガハス」、「千葉氏*」、「海辺」などの地域資源の魅力向上を図り、都市アイデンティティ*の確立に向けた取組みを進めています。
- 令和8年（2026年）、千葉市は、千葉開府900年*の記念期間を迎えます。この機を捉え、千葉市の持つ自然・文化・歴史・地域の魅力に改めて触れながら、未来のまちづくりのきっかけとするため、多様な主体と連携し、パレードをはじめとした様々な記念事業などを実施し、市民のまちへの誇りと愛着の醸成と主体的なまちづくりへの基盤づくりを進めます。
- また、郷土の歴史への理解を深めるため、「千葉氏」をはじめとする郷土史に関する魅力ある企画展を開催します。
- このほか、「オオガハス」への愛着を感じられるよう魅力の発信や「海辺」の賑わい創出の取組みのほか市内に残る貴重な文化財の保存・活用の推進とともに、特別史跡*加曽利貝塚の魅力と集客力の向上のため、史跡や新博物館の整備を進めていきます。

計画事業

千葉開府900年を契機とした市民の地域への誇り・愛着の醸成と主体的なまちづくりへの基盤づくり	都市アイデンティティ推進課
--	---------------

まちの魅力を高め、未来のまちづくりのきっかけとするため、多様な主体と連携し、記念パレードのほか、若者が主役となる各種事業を実施します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
千葉開府900年記念事業	準備	実施	実施
都市アイデンティティの定着状況調査	—	実施	実施

郷土理解の促進	郷土博物館
---------	-------

郷土の歴史について、市民の理解を促進するため、千葉開府900年記念千葉氏展など郷土史に関する魅力的な企画展を開催します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
郷土史に関する企画展の実施	企画展1回/年	千葉開府900年記念企画展2回	千葉開府900年記念企画展2回
		企画展4回	企画展2回/年
専門人材の配置	5人	配置拡充	配置拡充

オオガハスの魅力発信【再掲】		緑政課	
市の花「オオガハス」をより身近に感じられるようにするとともに、魅力を世界へ発信するため、身近な観賞環境の整備や新たな都市へのオオガハスの分根、国際園芸博覧会*への出展を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
オオガハスの拠点整備	小さな拠点整備	—	3か所 (緑区・美浜区・若葉区)
	観賞用アクセスルート整備	—	1か所
オオガハスで繋がる都市間交流	実施	新たな分根・再分根先の開拓 6都市	新たな分根・再分根先の開拓 6都市
国際園芸博覧会への出展によるオオガハスの情報発信	出展準備	実施	実施

海辺の活性化【再掲】		緑政課 中央・美浜公園緑地事務所	
やすらぎとにぎわいのある海辺の創出のため、いなげの浜における50周年記念イベントを実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
いなげの浜オープン50周年記念イベント等の実施	民間事業者との意見交換 記念イベントの方向性・ 推進体制決定	記念イベント等の実施	記念イベント等の実施

文化財の保存・活用の推進【再掲】		文化財課	
市内に残る文化財を先の世代まで守り伝えていくため、千葉市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の保存と活用を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
文化財の調査	千葉市文化財保存活用 地域計画策定	文化財調査	文化財調査実施

加曽利貝塚の史跡整備【再掲】		文化財課	
特別史跡*加曽利貝塚の魅力と集客力の向上を図るため、縄文時代の景観復元を目指した史跡の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
史跡整備(第2期)	検討	基本計画策定	史跡整備基本計画策定
		基本設計	北貝塚貝層断面観覧施設 実施設計完了
		実施設計	史跡環境整備実施設計完了

特別史跡*加曾利貝塚新博物館の整備【再掲】			文化財課
縄文文化の研究とその成果を市民などに発信する拠点とするため、史跡のガイドンス機能などを備えた、新たな博物館の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
新博物館の整備	事業者決定	基本設計	工事
		実施設計	
		工事	
		解体工事	
周辺環境の整備	(連絡歩道橋及び周遊路)測量 不動産鑑定	(連絡歩道橋及び周遊路)用地取得・設計・工事	(連絡歩道橋及び周遊路)工事 (歩道改良)詳細設計
		わくわく検討委員会運営	
		(歩道改良)予備設計	
		(歩道改良)詳細設計	

加曾利貝塚博物館の機能強化【再掲】			加曾利貝塚博物館 文化財課
博物館に求められる社会的役割を達成するため、新たに、博物館資料のデジタルアーカイブ*構築、県立中央博物館との連携などに取り組みます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
デジタルアーカイブの構築	—	構築	構築
連携企画展の開催	包括連携協定締結	開催	開催1回/年
特別史跡指定10周年イベントの開催	—	開催	開催

千葉市史編さん事業の推進【再掲】			郷土博物館
千葉市のあゆみを示す史料を市民の財産として伝えるため、『千葉市史史料編近現代』の刊行とともに、新しい通史編の編集に着手します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
『千葉市史史料編近現代』第3巻の刊行	編集	編集	刊行
		刊行	
『千葉市史』通史編の編集	編集	編集	編集

7-1-4 広域連携の深化

施策の展開

- 高い交通利便性や拠点性を有する千葉市は、地域における経済や文教の拠点都市としての性格が強いまちであり、しごと、学び、癒しやスポーツの場として圏域*内で大きな役割を担っています。今後、社会全体で人口減少局面は避けられない状況のなかで、圏域全体の活力を維持するためには、それぞれの地域の特性を活かしながら、それぞれが持つ強みを生かし、地域を越えて連携する必要性が増しています。
- 関係自治体が連携した東京湾と印旛沼をつなぐ花見川・新川流域一体の河川を活用したまちづくりや近隣自治体と連携する有害鳥獣対策など、千葉市とのつながりの深い周辺自治体との連携を強化します。

計画事業

河川を活用したまちづくり【再掲】		都市政策課、緑政課	
新たな賑わいや活力を創出し、河川を市民にとって身近で開かれた空間とするため、河川を活用したまちづくりを推進し、河川空間とその周辺の地域資源を一体的に活用する取組みを進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
花見川の利活用	花見川千本桜緑地の活性化	利活用社会実験実施 トライアルサウンディング* 民間活力導入可能性調査	利活用社会実験実施 利活用方針の策定
	花見川サイクリングコースの充実	サイン計画策定	サイン設置 サイン設置完了
都川の利活用	利活用社会実験実施	利活用社会実験実施 かわまちづくり計画策定に係る調査検討	利活用社会実験実施 かわまちづくり計画策定・登録
鹿島川の利活用	利活用社会実験実施	利活用社会実験実施	利活用社会実験実施

有害鳥獣対策の推進【再掲】			環境保全課 農政センター農業経営支援課		
有害鳥獣による生活被害及び農作物被害を抑制するため、近隣市と連携した集中捕獲や捕獲用わなの台数を拡充し、生息域の拡大などが見られる獣種を中心に捕獲を強化します。					
取組項目		令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
生活被害関係	捕獲の強化 (イノシシ)	捕獲わな	55基	15基増	70基
		わな動作監視機器	28基	10基増	38基
		出没地域周辺の調査の強化	試行実施	36回/年	36回/年
	(アライグマ等)	箱わな	75基	15基増	90基
農業被害関係	捕獲従事者の確保に向けた実践研修		3回/年 (基礎1回、実践2回)	内容拡充 2回/年増	5回/年 (実践3回、実践内容 拡充版2回)
	捕獲の強化 (アライグマ等)	電気柵設置補助	8件	7件/年増	15件/年
		箱わな	地域協議会用 27基	地域協議会用 61基増	地域協議会用 88基
生活・農業共通	周辺市との連携によるイノシシ集中捕獲		—	佐倉市・四街道市・市原市・大網白里市と連携実施	連携実施

7-2

都市の力を底上げするネットワークを整備する

【関連するSDGsの目標】



グリーンスローモビリティ

7-2-1 持続可能な公共交通ネットワークの形成

施策の展開

- 千葉市には、JR、京成電鉄、千葉都市モノレールや、幹線的なバス路線等で形成される公共交通ネットワークが、市の中心部から各方面に向けて張り巡らされています。
- 一方で、人口減少・少子高齢化の影響による利用者の減少や運転手不足が進み、公共交通が不便な地域における交通ネットワークの維持・確保といった課題に直面しています。
- そこで、市民生活や経済活動に必要な交通手段を確保するため、路線バスの維持・再編に向けた取組みを推進するとともに、グリーンスローモビリティ*等の支え合い交通*の導入を進めるほか、国家戦略特区*制度を活用し、自動運転などの社会実装を目指します。

計画事業

必要な移動手段の確保に向けた取組み		交通政策課	
市民生活や経済活動に必要な交通手段を確保するため、交通事業者などが連携・協働して、路線バスの維持・再編に向けた取組みを推進するとともに、支え合い交通の導入支援など地域の移動手段を維持・確保します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
路線バスの維持・再編	バス路線維持支援 バス路線の再編に向けた 路線見直しの方向性検討	生活交通バス路線維持支援 バス運行便数利用者数調査 バス路線の見直し	生活交通バス路線維持、 先行エリアでのバス路線の 見直し
運転手不足対策	2種免許取得支援 50人/年	2種免許取得支援 50人/年 新たな運転手確保支援 (就職支援など)	2種免許取得 50人/年 新たな運転手確保支援の 実施
グリーンスローモビリティの 導入	本格運行3地区 実証調査1地区	1台	本格運行4地区
コミュニティバスの収支改善	泉地域、大宮台 コミュニティバス運行	泉地域、大宮台コミュニティバス運行 コミュニティバス収支改善調査	泉地域、大宮台コミュニティバス運行
新たな地域公共交通導入 に向けた社会実験	本格運行1地区 社会実験3地区	本格運行3地区 社会実験2地区	本格運行3地区 社会実験2地区
公共交通の利用促進 (GTFS*化支援)	—	3社	3社

国家戦略特区*制度を活用した先端技術の推進【再掲】		国家戦略特区推進課	
国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進等により、関連産業の集積を促進するほか、自動運転などの社会実装を目指し、市民の利便性向上や社会課題の解決を図ります。			
取組項目	令和 7 年度末現況	計画内容	令和 10 年度末目標
自動運転車サービスの導入	公道における自動運転車 実証実験実施	実証支援	レベル 4 での自動運転*車 サービス実装
		実装支援	
国家戦略特区制度の 活用推進	11 件	3 件増	14 件

7-2-2 道路ネットワークの形成

施策の展開

- 千葉市の幹線道路網は、千葉都心部を中心とした放射・環状道路で構成されていますが、主要幹線道路を中心に交通渋滞が発生し、都市・経済活動に影響を及ぼしています。
- このため、人と物が円滑に移動・交流できる円滑な道路ネットワークの構築に向け、地域間の連携の強化や市のポテンシャルを高める観点から、広域的な道路ネットワークを整備するとともに、地域のまちづくりの観点から、市内ネットワークの形成を図る道路整備を着実に進めるほか、交通の整流化を図る交差点の改良を行います。

計画事業

広域ネットワークを構築する道路整備		道路計画課、街路建設課	
近隣都市との連携強化及び物流・観光など社会経済活動を支えるため、広域道路ネットワークの道路を整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
(仮称)検見川・真砂スマートICの整備	調査・検討	道路整備 400m (オンランプ) 調査検討(オフランプ)	道路整備 400m (オンランプ)
新湾岸道路の整備	調査・検討 一式	調査・検討	調査・検討
国道の整備(直轄事業負担金)	国事業への負担金拠出	継続	国事業への負担金拠出
主要地方道生実本納線の整備(ほか7路線)	用地取得 道路整備 370m (令和7年度事業量)	用地取得 道路整備 2,660m	道路整備 2,660m
市内ネットワークを構築する道路整備		街路建設課、道路建設課	
市内拠点間を連携し、市民生活の利便性向上や物流の効率化を図るため、市内ネットワークの道路を整備します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
(都)誉田駅前線(誉田町地区)の整備(ほか9路線)	用地取得 (令和7年度事業量)	用地取得 道路整備 490m	道路整備 490m
交差点の改良		道路計画課、道路建設課	
交通事故の減少及び渋滞の緩和を図るため、交通の整流化を図る交差点改良を実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
調査・設計	5か所 (令和7年度事業量)	6か所	6か所
用地取得	4か所 (令和7年度事業量)	7か所	7か所
整備	1か所 (令和7年度事業量)	5か所	5か所 (供用開始1路線)

7-2-3 安全・安心な移動環境の整備

施策の展開

- ノーマライゼーション*の理念のもと、「共生社会」の実現に向けて、誰もが安全に安心して円滑に移動できることは、市民がいきいきとした暮らしを送るうえで必要であり、千葉県バリアフリーマスタープラン（令和3年（2021年）3月策定）に基づき、市域内のバリアフリー化を推進しています。
- 高齢者や障害のある人など、あらゆる人の移動の円滑化を図るため、駅前広場の乗降施設の整備や歩道のバリアフリー化を行うとともに、狭い生活道路を安全で通行しやすい道路環境に改善します。
- また、利用者にとって安全・安心かつ快適な移動を確保するため、生活に密着した道路環境の改善を図ります。
- さらに、環境にやさしく健康にも良い自転車を楽しく安全に、自発的に利用する千葉県らしい生活スタイル「ちばチャリストイル」を実現するため、自転車を活用したまちづくりを推進します。

計画事業

生活道路の整備		道路建設課 道路計画課、街路建設課	
生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、狭い生活道路を安全で通行しやすい道路環境に改善します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
調査・設計	1か所 (令和7年度事業量)	5か所	5か所
用地取得	8か所 (令和7年度事業量)	10か所	10か所
整備	6か所 (令和7年度事業量)	10か所	10か所 (供用開始2路線)
自転車を活用したまちづくりの推進		自転車政策課	
環境にやさしく健康にもよい自転車を楽しく安全に利用する千葉県らしい生活スタイル「ちばチャリストイル」を実現するため、自転車を活用したまちづくりを総合的に推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
自転車利活用の拠点設置	16か所	46箇所	62か所
自転車走行環境の整備	自転車レーン等整備 88.9km	予備設計 1.8km 詳細設計 3.3km 整備 9 km	自転車レーン等整備 97.9km
放置自転車対策	自転車駐車場等整備 147か所	一時利用駐輪場 10か所 自動二輪受け入れ 8か所 立体駐輪場整備 1か所 駐輪場用地取得 1か所	自転車駐車場設備の充実

安全で安心な道路環境の整備【再掲】		土木保全課	
道路利用者の安全性・利便性の向上及び交通の円滑化を図るため、交通安全施設等の整備や道路のバリアフリー整備などを行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
安全施設の整備	区画線・防護柵等の整備	整備	区画線・防護柵等の整備
通学路の安全対策	通学路交通安全対策プログラムに基づく合同点検及び対策の実施	実施	通学路交通安全対策プログラムに基づく合同点検及び対策の実施
バリアフリー整備	段差解消	整備	整備
	視覚障害者誘導用ブロック	整備	整備
	都賀駅東口エレベーター	設置協議	設置完了
駅前広場の改良	整備	整備	整備
ベンチ設置	整備	120基	120基

7-3 まちの発展にテクノロジーを活かす

【関連するSDGsの目標】



自動運転バス

7-3-1 スマートシティの推進

施策の展開

- 今後、千葉市も人口減少局面を迎える中、まちづくりや地域経済を支える担い手の不足などをはじめとした様々な課題を解決していくためには、ICT*等のテクノロジーや官民各種のデータを効果的に活用したスマートシティ*の推進により、持続可能なまちづくりを進める必要があります。
- そのため、急速に進むデジタル社会に対応できる人材の育成に取り組むとともに、消防団業務や救急業務のほか、教育現場・町内自治会業務におけるDX*の推進、スマート農業*技術等の先端技術の活用により、業務負担軽減や生産性の向上に取り組み、市民の生活利便性の向上を図ります。

計画事業

デジタル人材*育成			スマートシティ推進課 保健体育課、こども企画課
急速に進むデジタル社会に対応できる人材の育成を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
デジタル人材育成 (こどもや若者の学びの場の創出)	デジタル人材育成プログラム 実施	デジタル人材育成プログラム 学びの場の環境整備	実施・環境整備
消防団業務のDX推進【新規・再掲】			消防局総務課
消防団員の負担軽減及び活動環境の改善を行うため、消防団業務のDXを推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
消防団アプリの導入	—	仕様検討、試行運用 導入・運用	運用

ICT*技術を用いた情報共有資器材の充実【再掲】			警防課	
大規模災害発生時の効率的な災害対応体制の構築のため、映像伝送により情報共有を行うアプリケーションの拡充や電子黒板を導入します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
映像伝送システム	配信用 (同時通信)	7アカウント	継続	7アカウント
	視聴用	8アカウント	6アカウント増	14アカウント
	配信可能	26アカウント	29アカウント増	55アカウント
電子黒板のリース	—	4基	4基	

救急業務のDX*推進（ICTを活用した救急業務の推進）【再掲】			救急課	
救急業務の効率化を図るため、マイナ救急*を運用するための端末を未配備の救急車に導入します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
マイナ救急の運用（救急車）	27台	7台増	34台	

防火管理講習等のオンライン化【再掲】			予防課	
受講者及び行政の負担軽減・利便性向上を図るため、防火管理講習などを対象にオンライン講習システムを導入します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
オンライン講習システムの導入・運用	Web会議方式による一部講習の実施	導入検討 導入・運用	オンライン運用	

第4次CABINET*の整備【再掲】			教育改革推進課	
GIGAスクール構想*の実現に向けて、児童生徒がギガタブ*を最大限に活用できる最適なネットワーク環境を構築するため、次期CABINET整備計画の策定を進めます。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
CABINET整備計画の策定	—	技術動向や現状の問題点等の調査・分析 整備計画策定	CABINET調達契約完了	

学校教育におけるICT活用推進【再掲】			教育センター	
学校教育におけるICT活用の新たなニーズや課題に対応するため、教育センターに専門的な知見を持つ人材を配置します。				
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標	
ICT活用教育アドバイザーの配置	—	配置	配置	

女性活躍の推進【再掲】		男女共同参画課	
賃金やIT技術者等デジタル人材*における、性別による不均衡の解消を目指し、就労に直結するデジタルスキルの習得から就労までの一体的な支援を実施します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
女性デジタル人材の育成	—	デジタル人材養成講座の開催1回/年 企業マッチング支援1回/年	デジタル人材育成養成講座の開催1回/年 企業マッチング支援1回/年

町内自治会業務の負担軽減の推進【再掲】		市民自治推進課	
地域活動への参加のしやすさを向上し、担い手確保を支援するため、業務の棚卸しやデジタル技術の活用などにより、町内自治会の負担軽減を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
デジタルツール展示・相談会	検討	1回/年	1回/年

スマート農業*技術等の活用に向けた農業者への支援【再掲】		農政センター農業生産振興課	
先端技術を活用した生産力向上と農業経営の持続性を図るため、スマート農業技術の普及や付加価値を生み出す農業を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
スマート農業技術体験機会の創出	スマート農業展示会1回	体験会2回/年 レンタル品の拡充	体験会2回/年 レンタル品の拡充
データ活用型農業経営に係る農業技師・農業者育成研修の実施	農業技師向けに実施	実施	実施
スマート農業機器・機械の導入助成	4件/年	1件/年増	5件/年
有機栽培技術の実証	2品目	1品目増	3品目

7-3-2 新しい技術・しくみの社会実装の加速化

施策の展開

- 急速に進展するテクノロジーを活用し、地域課題の解決や新たな価値の創造につなげていくためには、地域における先駆的な取組みを支援し、社会への実装を促進していく必要があります。
- 国家戦略特区*制度を活用し、自動運転などの社会実装を目指すとともに、メニューの活用や新規提案を促進します。

計画事業

国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進			国家戦略特区推進課
国家戦略特区制度を活用した先端技術の推進等により、関連産業の集積を促進するほか、自動運転などの社会実装を目指し、市民の利便性向上や社会課題の解決を図ります。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
自動運転車サービスの導入	公道における自動運転車実証実験実施	実証支援 実装支援	レベル4での自動運転*車サービス実装
国家戦略特区制度の活用推進	11件	3件増	14件

スマート農業*技術等の活用に向けた農業者への支援【再掲】			農政センター農業生産振興課
先端技術を活用した生産力向上と農業経営の持続性を図るため、スマート農業技術の普及や付加価値を生み出す農業を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
スマート農業技術体験機会の創出	スマート農業展示会1回	体験会2回/年 レンタル品の拡充	体験会2回/年 レンタル品の拡充
データ活用型農業経営に係る農業技師・農業者育成研修の実施	農業技師向けに実施	実施	実施
スマート農業機器・機械の導入助成	4件/年	1件/年増	5件/年
有機栽培技術の実証	2品目	1品目増	3品目

7-4

暮らしを支える基盤を創る

【関連するSDGsの目標】



千葉中央コミュニティセンター再整備後のイメージ

7-4-1 住環境・生活基盤の充実

施策の展開

- 千葉市はこれまで、一定の期間に特定の世代が流入し、人口増加に伴う住宅等の整備を実施してきました。その結果、開発から40～50年が経過した現在、居住者の高齢化が進むとともに、住宅や関連施設の老朽化が進んでいます。このような状況の中でも、将来にわたって持続可能なまちを実現するため、高経年団地の適切な維持と活性化の支援、住宅セーフティネット*の充実、さらに、公共施設の適正管理を推進し、効率的・効果的に行政サービスを提供できる体制を整えることが求められています。
- そこで、高経年住宅団地への若年層の流入を図るため、子育て世帯や新婚世帯などへの転居費用の助成や、民間事業者・専門家等と連携した取組みを行います。また、花見川団地では、団地を拠点とした地域生活圏の活性化を推進するため、UR都市機構などと連携し、多様な世代が安心して住み続けられる環境整備を進めます。
- さらに、住宅セーフティネットの充実を図るため、住宅確保要配慮者への円滑な入居支援を進めます。
- また、公共施設について、中長期的な視点から、施設の利用状況を踏まえた複合化や集約化等の効率的な利用を進め、千葉中央コミュニティセンター等建物の長寿命化や改修費用の最適化を図ります。

計画事業

花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化の推進		都市政策課	
高経年化した花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化を推進するため、UR都市機構等と連携し、多様な世代が安心して住み続けられる環境整備、花見川などの地域資源の活用に取り組めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
多様な世代が安心して住み続けられる環境整備	団地内移動手段の検討	団地内移動手段の検討・社会実験	方策実施の検討
地域資源の活用	花見川と団地商店街の連携実施	花見川サイクリングコースと団地商店街の連携等	花見川サイクリングコースと団地商店街の連携等

若年層の流入による住宅団地の活性化			住宅政策課
高齢化の進む住宅団地の活性化を図るため、若年層の流入を促進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
団地住替え支援	45件/年	5件/年増	50件/年
民間事業者や専門家等と連携した住宅団地活性化	—	モデル事業実施・効果検証 効果検証を踏まえた施策の立案	モデル事業の効果検証を踏まえた施策の立案

住宅確保要配慮者への円滑な入居支援			住宅政策課
住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を図るため、家賃債務保証料などの助成を拡充します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
家賃債務保証料等助成	7件/年	5件/年増	12件/年

千葉中央コミュニティセンターの再整備			資産経営課
千葉中央コミュニティセンターの耐震性を確保した上で、引き続き公用及び公共用の建物として利用するため、再整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
建物の再整備	改修工事着手	減築大規模改修工事	改修工事完了

7-4-2 持続可能な上下水道事業の推進

施策の展開

- 市民が良好な環境で生活を送るには、安定した上下水道サービスの供給が欠かせません。しかし、今後、更新時期を迎える施設等が急増することから、計画的な更新が必要となっています。
- そこで、未普及地区の水道管路、汚水管渠の整備を行うとともに、下水道施設における水処理施設の改築・ダウンサイジング・統廃合を考慮し、排水施設の整備、改築を実施し、持続可能な水環境づくりを推進します。
- また、大規模地震にも上下水道機能を維持・確保するため、上下水道施設の耐震化等を進めます。

計画事業

水道管路の整備		水道事業事務所 廃棄物施設整備課	
安全・安心な水を提供するため、水道管路の整備を進めます。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
配水管の整備	—	管網計算・実施設計	配水管の整備 2.3km
	—	配水管の整備 2.3km (富田町他)	
下水道未普及地域の解消（汚水管渠の整備）		下水道整備課 下水道経営課	
衛生的で快適な生活環境の実現と、海や河川などの水質保全を図るため、未普及地区の汚水管渠の整備を推進します。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
汚水管渠の整備	下水道整備面積 12,607ha	5.0ha	12,612ha
農業集落排水施設の再編整備		下水道整備課	
農村の生活環境を保全するため、農業集落排水施設の更新を行うとともに、各地区を統合し公共下水道へ接続する施設の再編を行います。			
取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
農業集落排水施設の再編	施設の再編3地区	施設の再編2地区	施設の再編5地区

下水道施設の再構築	下水道施設建設課 下水道経営課、下水道整備課
------------------	-----------------------------------

下水道施設の適正な機能を確保するため、老朽化したポンプ場及び浄化センター施設の再構築を、高度処理化や施設のダウンサイジング・統廃合などを考慮しながら行います。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
中央処理区ポンプ場及び中央浄化センターの再構築	水処理躯体改築4箇所・移設1箇所	水処理施設(中央浄化)躯体移設2箇所・撤去3箇所	水処理躯体改築4箇所・移設3箇所・撤去3箇所 暫定滞水池改造2箇所 雨水滞水池・分配槽撤去2箇所
		暫定滞水池改造(中央浄化)2箇所	
		雨水滞水池・分配槽撤去(中央浄化)2箇所	
		沈砂池・ポンプ棟実施設計(中央処理区)	

地震時における下水道機能の確保(下水道施設の耐震化)【再掲】	下水道整備課、下水道経営課 下水道施設建設課
---------------------------------------	-----------------------------------

大規模地震発生時においても、下水道の流下機能や処理機能を確保するため、管渠、処理場・ポンプ場の耐震化及びマンホール浮上防止対策、マンホールトイレ*の整備を推進します。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
管渠の耐震化	742.2km	工事 9.0km	751.2km
処理場・ポンプ場の耐震化	3か所	工事 9か所	12か所
マンホールトイレの整備	169か所	工事 29か所	198か所

地震時における水道機能の確保(水道施設の耐震化)【再掲】	水道事業事務所
-------------------------------------	----------------

地震発生時の安定給水を確保するため、水道施設の耐震化を進めます。

取組項目	令和7年度末現況	計画内容	令和10年度末目標
管路の耐震化	耐震管率 72.6%	整備 5.84km	耐震管率 79.2%
		管網計算、実施設計	
施設の耐震診断(大木戸浄水場)	—	耐震詳細診断	耐震詳細診断